資 料 ６－１

**令和５年度指定管理運営業務の評価方法・目標値設定について（案）**

**1．評価について**

　　第２回評価委員会では、原則として会議日の前々月の末日時点の評価を記載した評価票を用いて会議を行う。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 評価数値の考え方 |
| 人数・金額 | | 評価時点の実績数値を年間あたりに換算した数値 |
| イベント等 | 実施回数 | 評価時点で既に実施した事業数に、実施予定の事業数を加えた数値 |
| 参加者数 | 評価時点で既に実施した事業の参加者数に、各実施予定事業の定員に既実施事業の平均参加割合を掛けた数を加えた数値 |

**2．評価の決定方法について**

（１）各評価項目について

各評価基準を下記のとおりSABCの4段階で評価する。

|  |
| --- |
| S（優良）…求める水準を大きく上回り、素晴らしい貢献や優れた成果があった  A（良好）…求める水準を上回っている、または満たしている  B（ほぼ良好）…求める水準をほぼ満たしているが、一部改良してほしい点がある  C（要改善）…求める水準を満たしていない |

（２）評価項目に複数の評価基準があるものの評価の決定について

①（１）の評価をS（4点）A（3点）B（2点）C（1点）として点数化し、評価項目中の点数の平均値を算出する。

② ①で算出した平均値が【　4～3.5 …S / 3.4～2.5 …A / 2.4～1.5 …B / 1.4～1 …C 】

として評価項目の評価を決定する。

（３）評価基準に具体的な数値が設定されているものについて

　　①　目標値が設定されているものは、達成度に応じ下記のとおり点数をつける。

|  |
| --- |
| ４ …　達成度 ≧ 120％  ３ …　120％ ＞ 達成度 ≧ 100％  ２ …　100％ ＞ 達成度 ≧ 80％  １ …　80％ ＞ 達成度 |

②　参加者満足度調査は、実施状況と分析、分析結果のフィードバック状況について下記のとおり点数をつける。

|  |
| --- |
| ４ … 満足度調査を行い、その分析結果を適切にフィードバックしている。かつ、フィードバックした結果、その後の事業の参加者の増加や満足度調査の肯定的な回答の割合が明らかに増加する等の成果があった。  ３ … 満足度調査を行い、その分析結果を適切にフィードバックしている。  ２ … 満足度調査をしている。結果を分析している。  １ … 満足度調査を行っていない。満足度調査は行っているが、分析していない。  ※指定管理期間１年目は、今後のフィードバック実施予定があるかで評価し、S評価はなし。  ※評価委員会資料にフィードバック内容がわかるように記載し、必要に応じて資料（昨年度調査結果、フィードバックした内容\*）を添付。  （フィードバックした内容…「分析結果が○○だったため、××した」など） |

⇒①②による点数（複数項目ある場合は平均値）をもとに

【　4～3.5…S /3.4～2.5…A　/2.4～1.5…B　/1.4～1…C 　】として評価を決定する。

**３．目標値の設定について**

（１）考え方

・当初の指定管理者募集時の提案書等に記載している数値とする。

　【両館共通】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ① | 提案書等に数値があるもの | 提案書等に記載している数値を目標値とする。 |
| ② | 提案書等に数値がないもの | 直近5年間の実績数値のうち、最も高い数値と最も低い数値を除いた数値を平均したものを目標値とする。 |

※ただし、指定管理者の責めに帰すことができない事由については勘案し、目標値に反映することとする。

（２）令和５年度に関する具体的な目標値の設定方法

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが５類に移行したことを受け、過去2年設定していなかった目標値の設定を再開することとする。

その数値設定については、休館や短縮開館等、コロナ禍の影響を受けなかった平成30年度の来館者実績と令和4年度の実績値を比較し、その比率を乗ずることとする。

（令和4年度来館者数は、平成30年度比率：82.0%（中之島）・77.3％（中央））

よって、令和５年度については、提案書等に記載している数値に、当該比率を乗じて得た数値を目標値とする。

ただし、中之島図書館の入館者数については、上記のとおりとすると、コロナ禍の影響を大いに受けた令和２年度の入館者数とそれほど変わらない数値となることから、上記（１）の考え方にそって目標値を設定することとする。また、文化事業・館全体イベント・ガイドツアー等・展示会に係る回数・参加者人数、中央図書館の指定事業・自主事業の実施回数についても同様とするが、中之島図書館ガイドツアー等参加者数、中央図書館指定事業参加者数・自主事業参加者数については、実績比率（82.0%、77.3％）を乗じた数値を目標値とする。

なお、中央図書館駐車場利用数及び収入額については、来館者利用が主目的であることに併せて、地域住民の利便性向上に寄与するため、非来館者の利用も認めている。コロナ禍の影響による休館中も利用数の減少は大きくなかったことから、上記（１）の考え方にそって目標値を設定することとする。